

セット内容

製品パッケージには以下のパーツがセットされています。ご使用前にすべてが揃っていることをご確認ください。万が一不足がございましたら、お手数ですがお問い合わせいただいた販売店までご連絡ください。

※カッコ内は「ペアユニット」にセットされている数量です。

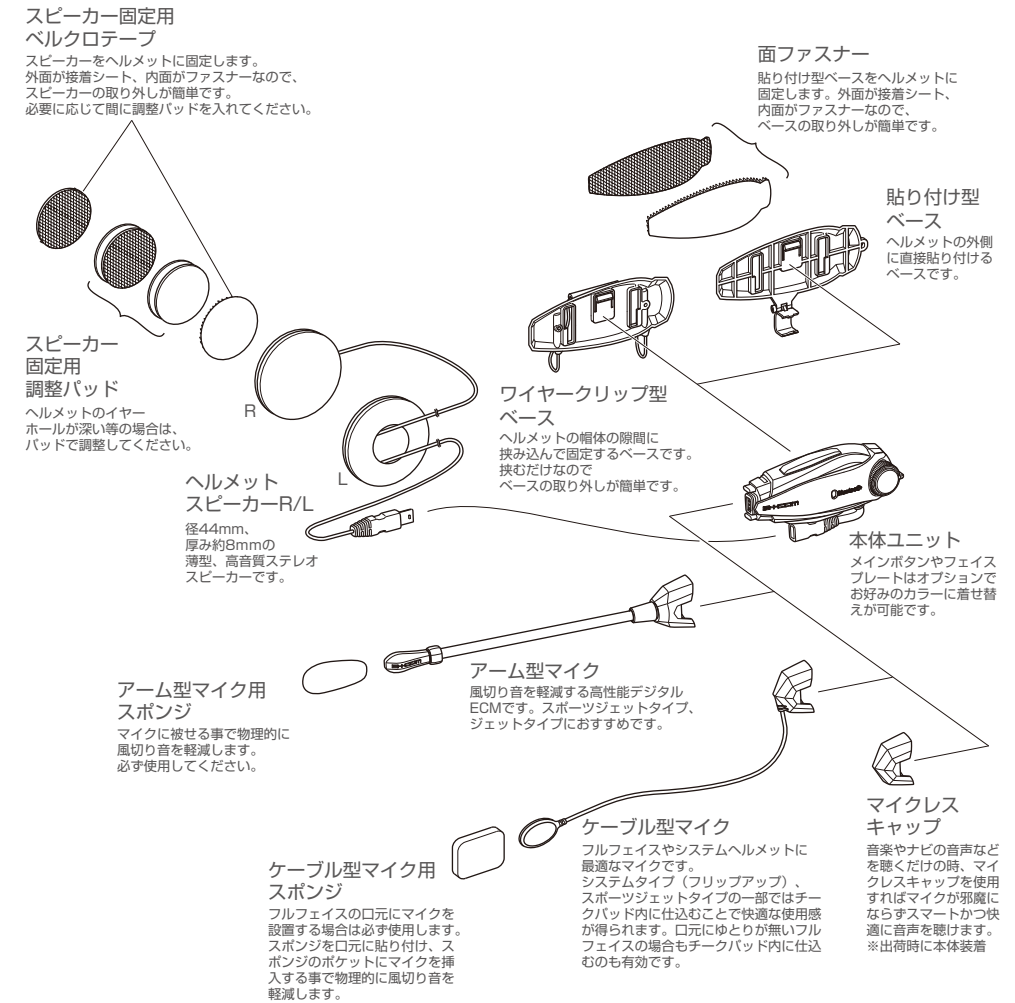
- アーム型マイク (150mm) × 1本 (2本)
- ケーブル型マイク (250mm) × 1本 (2本)
- マイクレスキャップ × 1個 (2個) ※本体に装着梱包
- アーム型マイク用スポンジ × 1個 (2個)
- ケーブル型マイク用スポンジ × 1個 (2個)
- SB4 本体ユニット × 1台 (2台)
- 貼り付け型 ベース × 1個 (2個)
- ワイヤークリップ型 ベース × 1個 (2個)
- 面ファスナー (貼り付け型ベース用) × 1枚 (2枚)
- スピーカー固定用調整パッド × 4枚 (8枚)
- スピーカー固定用ベルクロテープ × 2枚 (4枚)
- ヘルメットスピーカー × 1個 (2個)
- 充電用 AC アダプター (デュアルアウトタイプ) × 1個
- 充電用 USB ケーブル (データ通信時必要) × 2本
- データー通信用 USB アダプターケーブル × 1本
- ユーザーズマニュアル 兼保証書 (本書) × 1部
- クイックマニュアル × 1部

B+COM
Bluetooth コミュニケーションシステム
TYPE:SB4X
クイックマニュアル

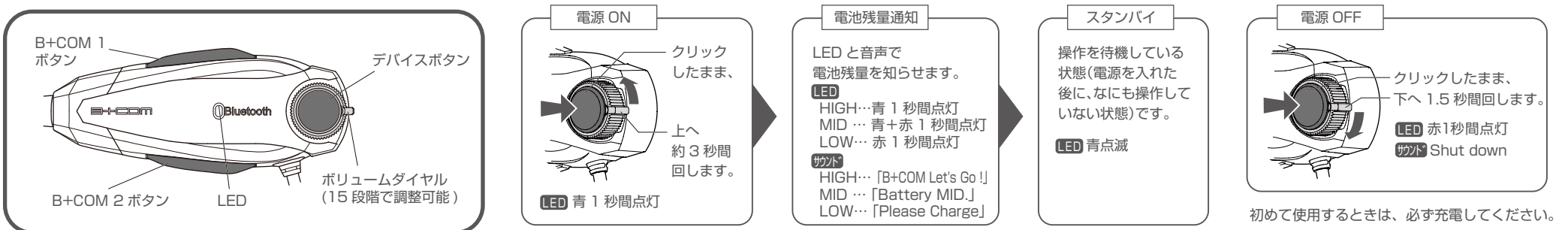
OS2.0対応版

14.07

B+COM SB4Xは下記のような構成になっています。



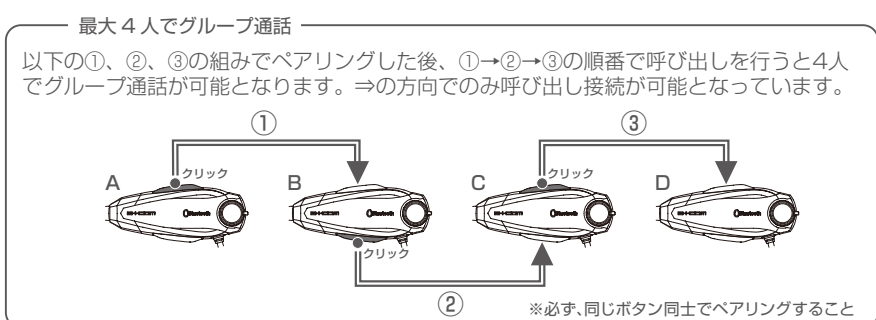
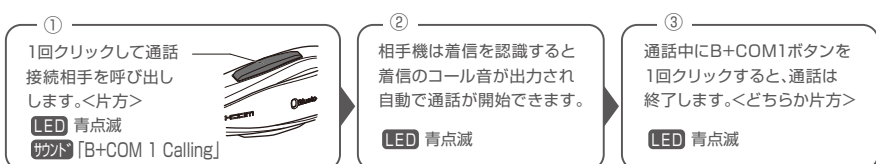
電源を入れてみよう!



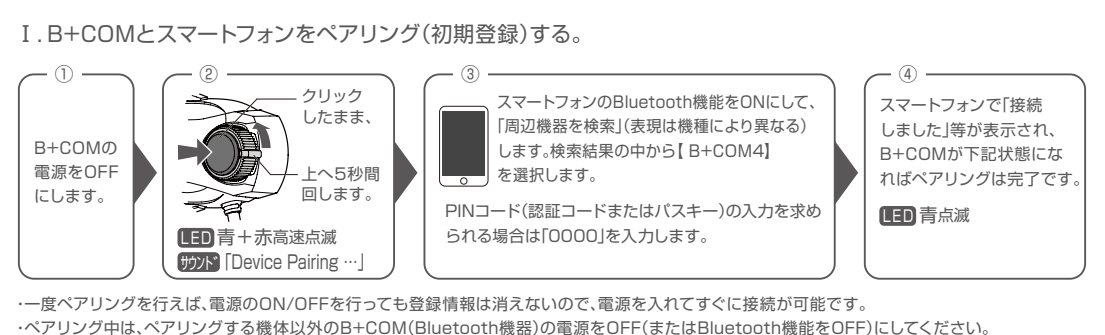
B+COM同士で通話してみよう!



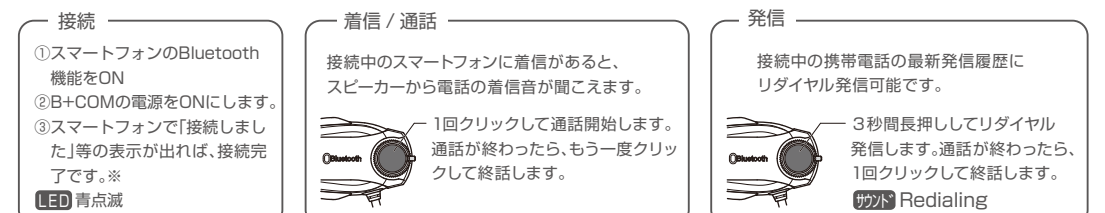
II. B+COM同士で通話する。



スマートフォンと接続して電話と音楽機能を使ってみよう!

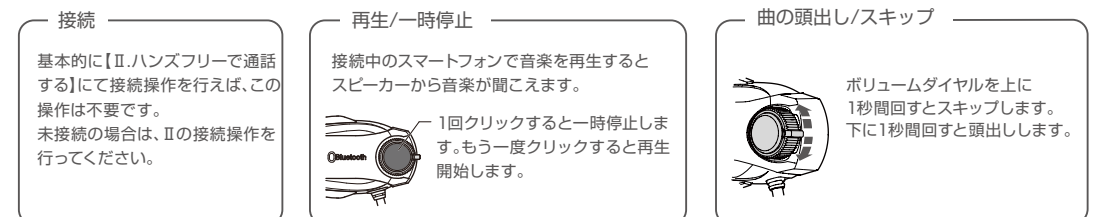


II. ハンズフリーで通話する。



※B+COMの電源ON後、6秒間のみ自動で接続します(オートコネクト機能)。未接続のまま6秒間を過ぎた場合は、ボリュームダイヤルを上へ1回上げて接続をしてください。(マニュアルコネクト ※ボリューム操作が機能しない時のみ有効)

III. 音楽を聴く。



B+COM SB4Xの音質性能を最大限発揮させるには、取付位置が重要です。

はじめに

I. ヘルメットの種類に合わせてマイクを選びます。

	フルフェイスタイプ	システムタイプ	スポーツジェットタイプ	ジェットタイプ
アーム型マイク	△	△	○	○
ケーブル型マイク	○	○*	○*	×

*チークパッド内に入るタイプのみ

⚠ 装着時の注意点

●このクイックマニュアルおよびヘルメットの取扱説明書に従って作業を行ってください。●内装が装着できるヘルメットは、耳に当たる部分の内装(チークパッド)を外しておくと、作業がスムーズに進みます。●接着シートで貼り付けるパーツは、取り付け位置を仮決めして、操作に支障がないことを確認した後、接着面の清掃、脱脂を行ってから貼り付けてください。●余った配線は、傷つけないようヘルメットの帽体と内装の間に入れてください。●作業終了後、配線接続の最終確認をしてから動作確認を行ってください。●ヘルメットにより簡単に取付できない場合がございます。その場合はヘルメットをご購入された販売店様へご相談ください。(ヘルメットを加工する場合、お客様の自己責任の上で、加工、装着を行ってください。)

II. マイクの種類に合わせて順番に取り付けます。



スピーカーを取り付けよう

イヤースペースが見えるタイプ (SHOEI 社製、ジェットタイプなど)

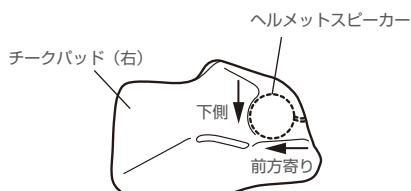
ベルクロテープをスピーカー設置場所のヘルメット面にループ側、スピーカーの裏面にフック側を貼り付けスピーカーを固定します。



※ジェットヘルメットなどのヘルメットは外音が入ることが多く、フルフェイスタイプと比べると音質が劣る傾向になります。また、フルフェイスタイプであってもシールドの半開きやエアインテークの開閉状態により外音の入り込みが大きくなり、本来の音量、音質が得られない場合があります。

チークパッドのイヤースペースが布で覆われ、脱着できるタイプ (Arai 社製など)

チークパッドを取り外し、布の中へスピーカーを入れてベルクロテープで固定してください。

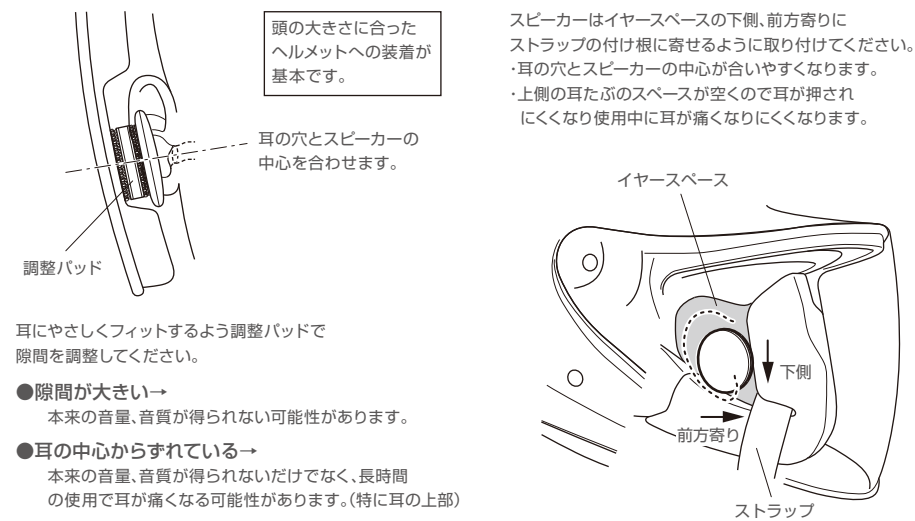


スピーカーはイヤースペースの下側、前方寄りに取り付けてください。
・耳の穴とスピーカーの中心が合いやすくなります。
・上側の耳たぶのスペースが空くので耳が押しされにくくなります。

重要 POINT

取り付ける前に本来の音量を確認しましょう!

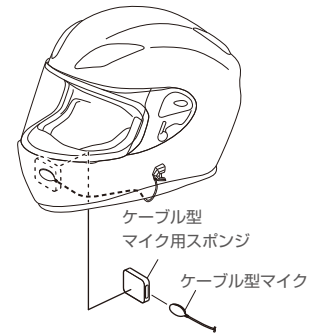
スピーカーを取り付ける前に、スピーカー単体を耳にあて本来の音量を確認しておき、ヘルメットを被ったときに同じように聞こえるようにスピーカーを設置してください。位置が適正でないと、「耳が痛い」、「音量が小さい」、「ノイズがひどい」といった症状になります。



ケーブルマイクを取り付けよう

ケーブル型マイク

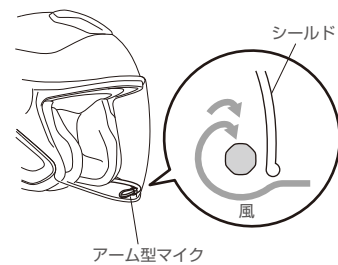
チングガード部の口元に接着シートでケーブルマイク用スポンジを貼り付けます。ケーブルマイクはヘルメット帽体(外装)とチークパッド(内装)の隙間からケーブルが出るように配線し、マイクスポンジのスリットにマイクを挿入します。



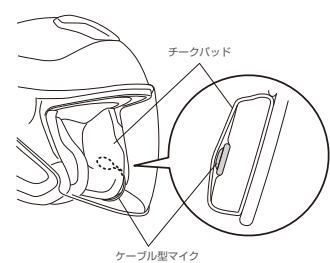
・マイク用スポンジはマイクに被せる事で物理的に風切り音を軽減します。必ず使用してください。
・風切り音の影響の少ない位置へ固定してください。
・タンデム時、パッセンジャーはライダーからの巻き込み風がヘルメットに強く当たりヘルメット内へ侵入した巻き込み風がノイズとして相手に大きく聞こえる場合があります。(シールド半開き時は特に増大します)

POINT

取り外しが可能なチークパッドが口元近くまであるヘルメットの場合



アーム型マイクを使用中にエアインテークやシールドなどで流速の早い風が通る場合、風切り音となって大きいノイズが相手に聞こえてしまう場合があります。



マイクの風切り音が大きい場合には、左頬側チークパッドの外布の内側にケーブル型マイクを仕込むことで風切り音が低減できます。マイクの位置は頬とスポンジに挟まれるできる限り口元に近い位置に入れます。システムタイプ/スポーツジェットタイプのヘルメットでは、シールドの開閉時にマイクが邪魔にならず快適な使用感を得られます。

アーム型マイク

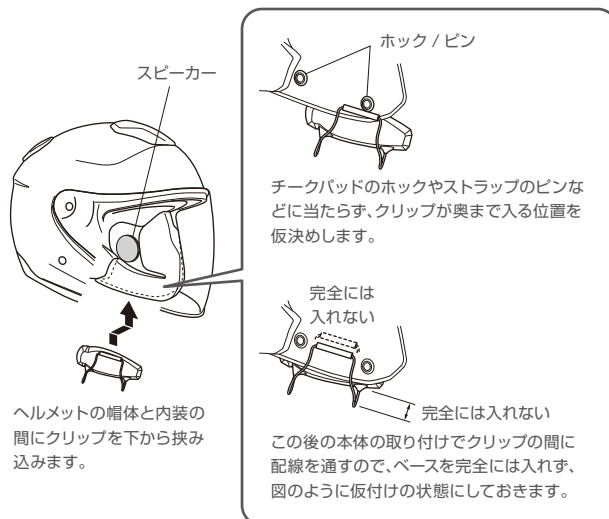
図のように口元に位置を合わせます。無指向性マイクのため口元付近に合わせればOKです。口元に合わせる際は無理に曲げたり引っ張ったりしないように注意してください。

1~2cm 程度

ベースを取り付けよう

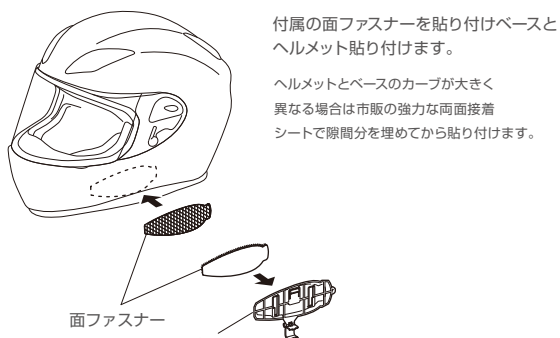
2種類の本体取付ベースを同梱していますので、ヘルメットの仕様や使い勝手により取付方法をお選びください。また、アーム型マイクを使用する場合は、マイクが口元の位置になるようにアームの長さを考慮の上、ベースの位置を仮決めしてください。

ワイヤークリップ型ベース



ヘルメットの帽体と内装の間にクリップを下から挟み込みます。

貼り付け型ベース

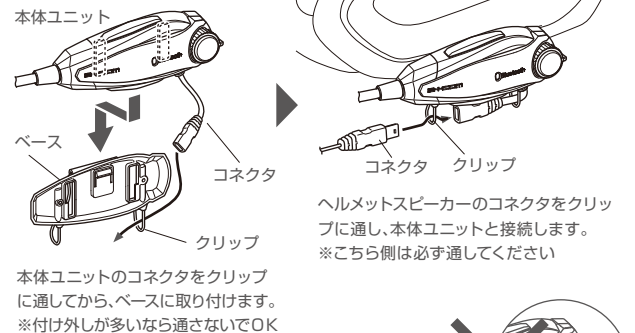


付属の面ファスナーを貼り付けベースとヘルメット貼り付けます。

ヘルメットとベースのカーブが大きく異なる場合は市販の強力両面接着シートで隙間を埋めてから貼り付けます。

本体を取り付けよう

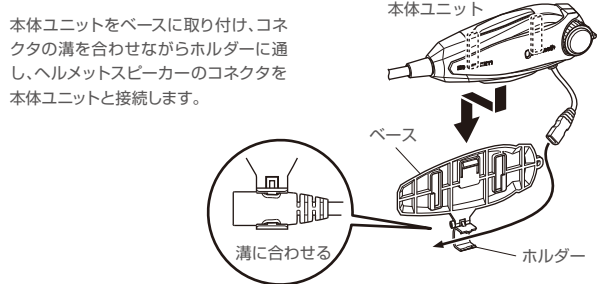
ワイヤークリップ型ベース



ヘルメットスピーカーのコネクタをクリップに通し、本体ユニットと接続します。 ※こちら側は必ず通してください

⚠ 取付・取外時、折り曲げ、引っ張り厳禁!

貼り付け型ベース



⚠ 本体ユニットから出ているUSBコネクタはやさしく扱ってください。過度な力をかけると断線します。また、必ず固定してください。

ケーブルを配線しよう

ケーブル型マイクと本体ユニット間のケーブル、ヘルメットスピーカーと本体ユニット間のケーブルは、内装とヘルメット帽体の間に通してください。クラシックジェットタイプ等内装が外せない場合は、ヘルメット淵の帽体と内装の間にケーブルを傷つけないように押し込んでください。

